

項目	自己評価	外部評価	次にステップに向け期待したい内容
	実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営			
1 1 ○理念の共有と実践 を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	○事業所と地域とのつきあい、利用者が地域とつながりながら暮らし、続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	「いつも一緒にいるの。楽しいよ」の理念を職員も少しでもより添うよう努めしており、折にふれみんなで読み上げて意識を高めています。	事業所内に運営理念が掲示されています。理念は「いつも一緒にいるの。楽しいよ」という事業所独自の理念を作り、管理者と職員は理念に沿った関わりを実践しています。
2 2 ○事業所の力を活かした地域貢献事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービス等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族葬ははじめての利用者のお葬儀でお泊りをしたり、食事を共にするなど、施設に滞け込んでいる方が何人いらっしゃいます。地域住民も多数参加していただき横濱店のサービス、金額り等昨年同じく地域の方も野菜など届けてくれたり、見学してくれたりしています。	毎月ボランティアを招いたり、地域のイベントや行事に積極的に参加しています。日常的な散歩だけでなく、地域の活動を通して地域のつながりを深めています。
3 3 ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいます。	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいます。	2ヶ月に1度、町の福祉課長・地域包括職員・地域代表・家族・利用者等の参加の下開催され、利用者の状況報告や行事報告、意見を聞き話し合いをしてください、サービス向上を楽しんでいます。	事業所内に運営理念が掲示されています。理念は「いつも一緒にいるの。楽しいよ」という事業所独自の理念を作り、管理者と職員は理念に沿った関わりを実践しています。
4 4 ○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないよう注意を払いつつ、防止に努めている	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないよう注意を払いつつ、防止に努めている	職員全員で虐待についての研修を行うと共に、その理解を深め、防止に努めると共に、なにげない言動に、暴力をなくす為意識して取り組んでいます。	事業所内に運営理念が掲示されています。理念は「いつも一緒にいるの。楽しいよ」という事業所独自の理念を作り、管理者と職員は理念に沿った関わりを実践しています。

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度についても、研修等でしっかりと理解してもらいたい契約して利用者家族様から相談に応じられるよう取り組んでいる。	
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約の際に説明の上納得してもらい契約してもらいたい。改訂事項等がでる場合もその都度説明の上署名を頂いている。	
10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理する者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、ケアプラン説明時、利用料金徴収時等、全家族の要望や意見を確認してきるだけ要望に応えている。又、利用者代表では推進会議で運営についての意見を述べてもうっています。又、行事実施時には8割強の家族が参加され、終了後家族と意見交換の場も設けています。	利用者には、日頃の会話の中から意見や要望を聞かれています。家族の訪問も多く、意見や要望を聞くよう心掛けている。また、行方不明時に家族が参加され、行方不明の方が殆ど参加され、終了後家族との意見交換の場を設けています。
11	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	職員会議、ミーティング以外にも意見や提案が常に見えるオープンな環境にあると思われます。	職員は常に職場に整備に努め、職場環境が築き上げられ、職員同士もコミュニケーションが円滑に行われて運営に反映されています。代表者や日々の職員の意見を聞き取り、意見を反映させています。
12	○就業環境の整備 代表者は、管理職員一人ひとりや実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、職場が向上心を持って働ける機会の確保・条件の整備に努めている	代表者は常に職場に整備に努め、職場環境の勤務状況も把握し、やりがいをもつて職場環境に努めています。	職員は常に職場に整備に努め、職場環境が築き上げられ、職員同士もコミュニケーションが円滑に行われて運営に反映されています。代表者や日々の職員の意見を聞き取り、意見を反映させています。
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内研修や外部研修への参加で、資格取得等個々のスキルアップを図る為、努めている。	地域の同業者の研修に参加したり、研修に来てもらったりして交流を深めている。
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させしていく取組みをしている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係で、本人が困っていること、不安な要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	○初期に築く家族等との信頼関係で、家族等が困っていること、不安な要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活ベースを知るために、声掛けを重ね、少しでも早く慣れをもたらす環境作りを心掛けると共に一日も早くここが自分の居場所と認識してもらいます。	
16	○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が困っていること、不安な要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様に何でも話してもらえる親しみやすい雰囲気作る気持ちを心掛け、心えべく要望にも応えられるようにしていきます。	
17	○本人と共に過ごし支えあう職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	○本人と共に過ごし支えあう職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所時のサマリー・フェースシート等で状況等を確認し、ご家族様の要望に沿つた支援ができるよう心配している。	
18	○本人と共に過ごし支えあう職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	○本人と共に過ごし支えあう職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お家であるという感覚で常に助けあい、共に過ごし、その立場に立った支援をみんなで心掛けている。	
19	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないと、支援に努めている	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないと、支援に努めている	毎日面会に来てくれる家族様、週に何回かは来てくれる家族様がおられ、職員と一緒になって話し合える環境をつくっています。又、他の家族様にもホームに気安く来てもらえるよう努めている。	
20	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援に努めている	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう支援に努めている	馴染みの方や友人の訪問、家族の方の面会も多くあります。また、利用者の要望のある事や必要に応じて、家族の協力も得ながら馴染みの関係が途切れないとお連れする様にしています。	
21	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了してから、必要に応じて本人・家族の絆を過をフォローし、相談や支援に努めている	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了してから、必要に応じて本人・家族の絆を過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームでの生活を楽しんでもらうため交際を多くもつけるカラオケ、ゲーム又、利用者同士もパズルを楽しんでいます。	
22			入院された方には、必要に応じて面会等、経過をフォローできるようにしていきます。	

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める		これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	
23	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	趣味などを把握し、本人・家族の望む生活スタイルや趣向を大切にした暮らしが継続できるようにしておられます。	入居時に本人や家族から情報を聞き、いま生じた暮らし方の把握を把握して、日々の開わりの中で希望に努めています。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、心身の状態、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族様からの支援専門員から情報報をもとに生活歴、馴染まれた暮らし方、生活環境の情報収集に努めている。	本人や家族様からの支援専門員から情報報をもとに生活歴、馴染まれた暮らし方、生活環境の情報収集に努めている。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身の状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のベースを把握した上で、できる事、見極めない事を見極め、本人の有する能力の維持向上に努めている。	定期的に介護計画の見直しが行われ、面会時や電話での聞きながり、意見を聞きながら、本人のニーズに沿った介護計画を作成するよう努めている。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方にについて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、それらに即した介護計画を作成している	本人、家族の希望を確認の上、職員の意見を聞きながら、本人のニーズに沿った介護計画を作成するよう努めている。	定期的に介護計画の見直しが行われ、面会時や電話での聞きながり、意見を聞きながら、本人のニーズに沿った介護計画を作成され、現状に即した介護計画を作成され、状態が変わったときに連絡で確認、判断などは定期的に行なわれて、その都度対応されています。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、気遣い、意見を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員が連絡帳に詳細に連絡事項を記入、それそれが出勤時の仕事の引継ぎには今後の目標を確認するところ重視されがれない、よって連絡帳で確認、判断などは實質で確認。又、介護計画の確認等で常に情報共有に努めている。	定期的に介護計画の見直しが行われ、面会時や電話での聞きながり、意見を聞きながら、本人のニーズに沿った介護計画を作成され、現状に即した介護計画を作成され、状態が変わったときに連絡で確認、判断などは定期的に行なわれて、その都度対応されています。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態変化に合わせて、常に柔軟に対応できるよう重視して、ミーティングを重ねて、状態変化に対応している。	状態変化に合わせて、常に柔軟に対応できるよう重視して、ミーティングを重ねて、状態変化に対応している。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	恵まれた自然環境の中、暮らしに地域のボランティアも多いに活用させてもらっている。	恵まれた自然環境の中、暮らしに地域のボランティアも多いに活用させてもらっている。	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	これまでの生活歴、本人や家族の希望など把握し、生き方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める

30 11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれにかかりつけ医と連携により、通院の方は定期的に家族機関が受診をお連れ下さり、大方の利用者は通院が隠遁の往診が2時間体制で緊急時に往診をお願いします。その主治医は24時間体制で常に主治医とは連携が同行されています。家族が必要な時は、家族が同行され、24時間緊急時対応できるよう支援されています。	歯科医を含め5件のかかりつけ医の往診が2週間に1度あります。家族が必要な時は、家族が同行され、24時間緊急時対応できるよう支援されています。	
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気つきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	看護職員は常勤配置により、体制を整え、情報の共有、パート職員にも准看護職員がおり適切な支援ができる。看護職員は常に相談できるよう、ソーシャルワーカーと共に定期的に連絡を取るべく早く住み込み、慣れた生活に戻れるよう取組んでおります。	看護職員は常勤配置により、体制を整え、情報の共有、パート職員にも准看護職員がおり適切な支援ができる。	
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるよう、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院が円滑に出来るよう、ソーシャルワーカーと一緒にながら、連絡を取るべく早く住み込み、慣れた生活に戻れるよう取組んでおります。	入退院が円滑に出来ることを、職員にも准看護職員ができる。	
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話しを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を立てることを、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者が重度化した場合等の対応に係る指針をつくり全ご家族に説明の上、承いたいと思います。	重度化した場合の指針を説明され、同意を得られます。また、看取りを行った事はないが、今後家族と話し合いをもち、看取りも実施していく方針です。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員は応急手当や実践力を応じて、定期的に行い、初期対応力を取り組んでいる	急変、事故発生時に従い初期対応訓練を行い、日々心掛けている。	急変、二ユアルに従い初期対応訓練を行い、日々心掛けている。	
35 13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できることとともに、方法を全職員が身につけていくことと、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルを作成し、避難訓練、消防署との連携により定期的に行なう訓練にも職員数名が参加する。また、地域との連携強化に努めています。	災害対策マニュアルを作成し、職員の見やすいところに配置されたり、夜間などの想定訓練も実施されています。訓練などにも協力体制を築かれています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36 14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人のプライドとプライバシーを尊重しながら、個人情報の取扱いには、厳重に注意しています。また、個人情報を適切に沿った言葉かけを心掛けます。	一人ひとりの気持ちやさり気ない言葉かけや、個人情報を心掛けられない対応を心掛けられます。また、個人情報を取り扱いにも十分注意し対応されています。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを常に考慮し、職員交換も少し叶えられて、希望を叶えられるように心掛けています。		
38 39	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様優先で少しでも気持ちは、職員交換も少し叶えられて、希望を叶えられるように心掛けます。	毛染めをしたい人にせてもらい、1日のメリハリをつけれる為、おしゃれを楽しんでもらっています。	
40 15	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毛染めをしたい人にせてもらい、1日のメリハリをつけれる為、おしゃれを楽しんでもらっています。	野菜作りを利用者様と一緒にし、収穫した野菜をみんなで楽しめ、お聞きします。又、利用者様に大根おろし、洗い物も手伝ってもらっています。	献立は決められていますが、利用者の要望に合わせて、職員と一緒に食事や片付けを一緒にしてきます。
41	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、がんばりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	水分量の確保、栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	水分量の確保、栄養バランス、食事に水を飲んだり、配膳、おしゃれを楽しめます。	水分量の確保、栄養バランス、食事に水を飲んだり、配膳、おしゃれを楽しめます。
42	○栄養摂取や水分確保の支援 が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	個々に応じた口腔ケアと共に、最近オーラルピースを使っているが非常に好評です。	個々に応じた口腔ケアを共に、最近オーラルピースを使っているが非常に好評です。	

43	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄ペターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄ペターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	朝食には全員にバナナ、ヨーグルト、牛乳を毎日摂ってもらい、自然排便に努めていますが、便秘が3日以上になるとトイレでの排泄を大切にされ個々に応じた支援がされています。	昼間おむつゼロ作戦なるものを展開し寝たきりの方、座位の難しい方に便器での排泄を行っています。
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食には全員にバナナ、ヨーグルト、牛乳を毎日摂ってもらい、自然排便に努めていますが、便秘が3日以上になるとトイレでの排泄を行っています。	昼間おむつゼロ作戦なるものを展開し寝たきりの方、座位の難しい方に便器での排泄を行っています。
45	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は一応午後から夕方ですが、朝も支援します。又、部屋とビングを往復しています。	高齢の方には、昼食後1～2時間のお昼寝をしてもらっています。又、動かれる人は自由に部屋とビングを往復しています。
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	高齢の方には、昼食後1～2時間のお昼寝をしてもらっています。又、動かれる人は自由に部屋とビングを往復しています。	週2回の入浴を基本とさせていますが、その日の状態や希望に合わせた入浴できる体制が整えられています。
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	皆様の飲まれている薬は職員全員が把握していますが、服薬時には必ず二人の目を通しのチェックし飲み終るなど万全体制で事故防止に努めています。	皆様の飲まれている薬は職員全員が把握していますが、服薬時には必ず二人の目を通しのチェックし飲み終るなど万全体制で事故防止に努めています。
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々レクリエーション、散歩等を楽し行な事には家族大に楽しめ、有意義な1日である工夫で支援しています。	利用者の排泄習慣を把握され、オムツの使用を排泄を大切にされ個々に応じた支援がされています。

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	買い物にでかけましょ う、散歩に行きま しょうと少しでも戸外に出かけ、外食見学 ドライブ・お花見学 でできるだけ支援します。	家族の協力もあり、お花見や外食・ドライブなど、家族がたくさんいる様子が窺えます。また、外出する機会があり、天候の良い日には散歩にも出かけられます。
50	51	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人やご家族の希望があれば、所持することもできる柔軟に対応しています。	家族へ電話をし たいと希望にそつて掛けさせてもらつてかられます。
51	52	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様へ電話をし たいと希望にそつて掛けさせてもらつてかられます。	利用者様に居心地よく過ごしてもらえるよう、ウッドデッキでお茶を楽しんだり、散歩したり、自然ありふれた環境の中で季節感を感じながらもらっています。
52	53	○居心地のよい共用空間づくり 共用空間の中での、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思 いに過ごせるような居場所の工夫をして いる	ソファに座って、リ 語り合ったり、リ ビングでは自由に 居場所を作つても らっています。	天井も高く広々としたリビングには、クリスマスツリーが飾られたりソファーや籠が飾られたりと過ごせるように配慮されています。また、屋外にはウッドペッキがあり、憩いのスペースになっており季節感を楽しめるようにされています。
53	54	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本 人や家族と相談しながら、使い慣れ たものや好みのものを活かして、本 人が居心地よく過ごせるような工夫を している	居室ではそれぞれ 使い慣れた家具等 囲つて、居場所を作つても らっています。	持ち込みの制限は無 く、使い慣れた馴染み心地 で個々に違う雰囲 気を作つてもらつて、 空間を作つても らっています。
54	55	○一人ひとりの力を活かした安全な 環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できる こと」や「わかること」を活かし て、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	全面バリアフリーで 安全快適に暮らしてい もらい、自立した生 活の支援ができるよ う最善を尽くしてま す。	家族の協力もあり、お花見や外食・ドライブなど、家族がたくさんいる様子が窺えます。また、外出する機会があり、天候の良い日には散歩にも出かけられます。

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができるている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のよう ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ①大きいに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
職員は活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
職員から見て、利用者はサービスにおもね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
職員からみて利用者の家族等はサービスにおもね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族が <input type="radio"/> ②家族の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない